

1 日常の学習状況・課題について

1. 日常の学習状況・課題について

- (1) 理科への興味・関心は比較的高く、全般的に良く取り組んでいる。
- (2) 授業アンケートから、授業に集中し意欲的に取り組んでいると答えた生徒が大多数である。特に、実験・観察の授業への関心は高く、準備から片付けまできちんと行い、正しい結果や考察を導き出せるよう取り組む習慣ができています。
- (3) 授業では理解できていても、家庭学習が不足していて知識が定着していない生徒がいる。

2 改善の計画

(1) 学習面

- ①実験・観察の始めに目的をレポートに記入し、実験の意味を考えて行わせる。
- ②ワークブックやシートを使って課題を与え、繰り返し問題に取り組ませる。
特に、グラフを読み取ったり計算が含まれる分野は苦手意識が強い生徒が多いので、基本問題を繰り返し行う。易しい問題から始めることで、解ける自信を付けさせる。
- ③教科書等の大切なところにラインを引かせ、視覚で判断できることを増やす。
- ④演習に関しては、授業内と宿題の両方面で行い、理解を深めさせる。

(2) 指導面

- ①実験・観察データの処理の仕方や、その結果から法則性を導き出す過程を重視し、「考察」を考える機会を多くもつことによって、「思考・判断・表現」の力を伸ばせるよう指導する。
- ②グループでの学び合いを取り入れ、他者の意見から科学的思考を深めていくようにする。
- ③個別に実験レポートを添削し評価するとともに、どのように表現していくべきかを指導する。
- ④目に見えない現象や、実験・観察しにくい内容は、資料集や動画を用いてとらえさせる。また、実物投影機や顕微鏡カメラなどを用いて、視覚的にとらえやすくし、理解に役立てる。
- ⑤教科内で指導法を検討しながら、本校の生徒の実態に合った指導法を常に話し合い実践していく。

3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 定期テストで理解度をはかる。
- (3) 結果について教科内で検討し、次年度への参考とする。